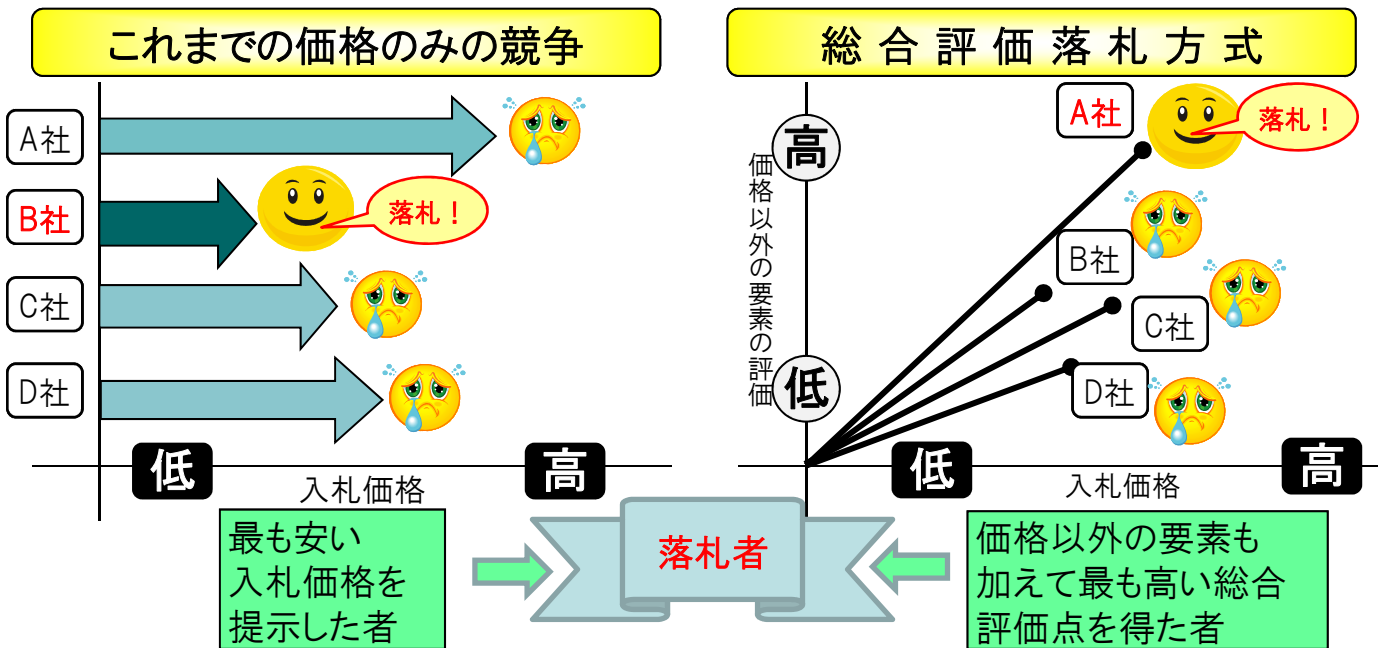


北海道の総合評価落札方式の取組

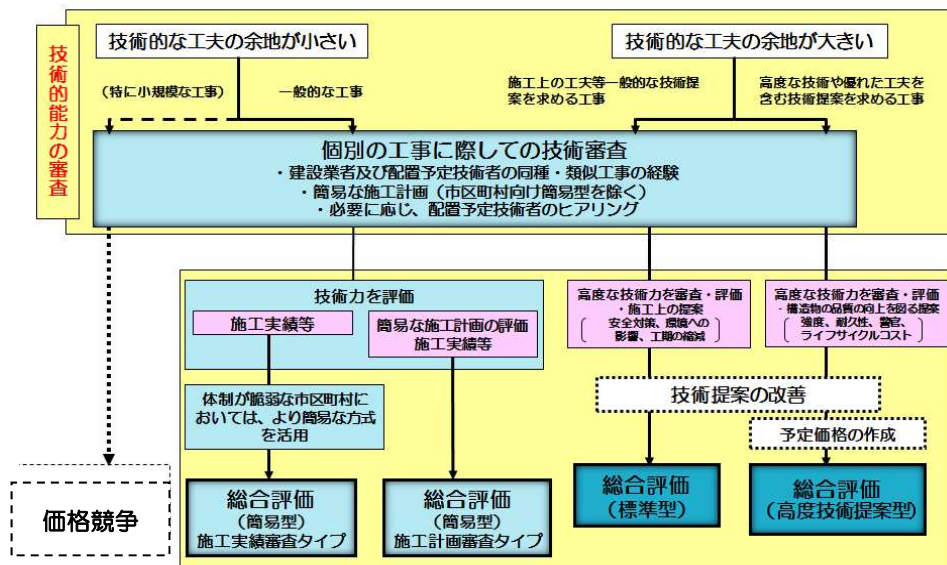
<総合評価落札方式とは> 「価格」から「価格と品質」の競争へ

総合評価落札方式は、価格だけによる従来の落札方式と違い、公共工事の品質確保の促進のため、高い技術力や創意工夫、確実な施工といった価格以外の要素を含めて総合的に評価を行い落札者を決める方法です。

※「品質」とは工事目的物の品質はもとより、工事の効率性、安全性、環境への配慮等の工事施工段階における特性も含まれています。



<総合評価落札方式の分類>



<総合評価落札方式の実施状況>

○ H16～ 標準型総合評価方式を試行
○ H18～ 簡易型総合評価方式を試行

	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
標準型	1	1	0	4	6	1	1	2	3	1	3	2	3	4	3	0	5	1	1
簡易型			64	151	239	417	537	600	609	603	518	517	593	611	713	742	735	792	752
計	1	1	64	155	245	418	538	602	612	604	521	519	596	615	716	742	740	793	753

※ 各建設管理部において総合評価方式により発注した工事件数です。(建築指導課発注工事を除く)